

Radio Powr Savr™

取付工事店・電気店様へのお願い：
本書を必ずお読みになってから取り付けて下さい。

バッテリー式ワイヤレス人感センサー

LRF6-OCR2B-P 3V≒ 14μA 315 MHz

本製品に対応する製品/その他の情報

本製品に対応する製品の全リストおよびその他の情報につきましては、www.lutron.com/occensors をご覧ください。

製品の説明

ルートロンの天井取付型人感センサーは、バッテリーで動作するワイヤレス機器で、熱線式センサー (PIR) を搭載しているため、調光器やスイッチ機器からの無線による通信で、自動的に照明をコントロールすることができます。

重要な注意点

- このセンサーはシステムを構成する機器の1つであり、対応する調光器またはスイッチ機器がないと、負荷をコントロールすることはできません。取り付けに方法つきましては、受信側機器の説明シートをご覧ください。
- CR123 サイズおよび3V≒(ANSI-5018LC、IEC-CR17345)の高品質リチウムバッテリー以外は使用しないで下さい。充電式バッテリーは使用しないで下さい。不適切な定格のバッテリーを使用すると、センサーが破損することがあります。

注意：バッテリーを分解、焼却したり、穴を開けたりしないで下さい。バッテリーは家庭用ごみには捨てず、リサイクルごみまたはバッテリー専用回収箱に廃棄して下さい。バッテリーの廃棄またはリサイクル方法が分からない場合は、お住まいの市町村の清掃局にお問い合わせ下さい。お子様の手の届かないところに保管して下さい。

警告: 挟まれる危険があります。 挟まれたり、ケガや死亡事故につながる恐れがありますので、操作する場所から見えない機器や、誤って動作させると挟まれるなど、危険な状態を誘発する機器のコントロールには本製品を使用しないで下さい。本製品で動作させてはけない機器の例は、電動ゲート、車庫のドア、業務用ドア、電子レンジ、電気毛布などです(他にもあります)。使用者の責任において、操作する場所からコントロールする機器が見えること、また、本製品に適切な機器以外接続されていないことを必ずご確認下さい。以上が守られない場合、大きなケガにつながる恐れがあります。

本製品の取り付けや取り扱いについては、次の各項目にご注意下さい：

- センサーは天井取付専用です。3.7m以上の高さがある天井には、設置しないで下さい(「**C. センサーの検知範囲**」の項目をご覧ください)。
- センサーは遮るものがなく、部屋全体を見渡せる場所に設置して下さい。センサーと検知対象(人)の間に障害物があると、正しく作動しないことがあります。センサーが人から見えない位置にある場合、センサーは動作を検知できません。また、センサーはサンルームや浴室のガラス戸など、ガラス板を通過しません(C. センサーの検知範囲をご覧ください)。
- 暖房、空調の吹き出し口や換気口、電子レンジから1.8m以内、その他外線機器の15cm以内、天井より低い位置に取り付けられている電球の1.2m以内には、センサーを設置しないで下さい(「**C. センサーの検知範囲**」をご覧ください)。
- センサーと、接続する調光器またはスイッチ機器との間の距離は、最長で7mです。
- 検知する部屋から室外が広く見える場所には、なるべくセンサーを設置しないようにして下さい。そのような場所に設置せざるを得ない場合は、室外のエリアを検知させないようレンズの一部を覆うことができます(下記の「**レンズを覆う**」をご覧ください)。

センサーは、センサーの検知範囲が部屋の外に及んでいる場合は、センサーが設定どおり作動しない。

センサーの検知範囲のテスト中に、動作に反応してレンズが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

センサー検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

センサー検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

テクニカルサポート

本製品の取り付けや取り扱いについてご不明な点がある場合は、ルートロンアスカまでお問い合わせ下さい。お問い合わせの際は、あらかじめお手元にモデル番号をご用意下さい。

03.5575.8411 日本国内
www.lutron.com/japan
www.lutron.com

限定保証

ルートロン アスカ株式会社は弊社の判断に基づき、製造欠陥または材料欠陥がある場合は、ご購入から一年以内に限りユニットを交換します。保証サービスをご希望の場合は、〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-20 第 16 興和ビル南館 4 階ルートロン アスカ株式会社まで、ご購入品をお送りいただくか、03-5575-8411 までお問い合わせください。

この保証は唯一の明示的保証であり、商品性の黙示的保証や、日本の民法に基づく黙示的保証(瑕疵担保責任)などの適用は購入後1年間に限ります。この保証は、取り付け、取り外し、再取り付け、または誤使用、悪用、不適切もしくは不適正な修理、さらに誤配線や不適切な取り付けに起因する損傷には適用されません。また、この保証は付随的、結果的、もしくはいかなる特別損害にも適用されません。ユニットの製造、販売、取り付け、配送、使用に起因または関連して発生した損傷に関する、ルートロン アスカ株式会社の責任は、いかなる場合もユニットの購入価格を超えないものとします。

Lutron, Maestro Wireless, Lutron社口は Lutron Electronics Co., Inc. の登録商標であり、Radio Powr Savr は商標です。また ANSI は米国規格協会の登録商標であり、IEC は国際電気標準会議の商標です。

©2011 Lutron Electronics Co., Inc.

ルートロン アスカ株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂1-9-20 第16興和ビル南館4階
P/N 041-327 Rev.A 08/2011

取扱説明

A 取り付け前に

1 センサーの設定を始める前に、接続する調光器またはスイッチ機器を取り付けて下さい。

2 カバーを回して取り外し、バッテリーを入れて下さい。

B セットアップする

センサーが正しく動作するよう、まず対応する調光器またはスイッチ機器に接続する必要があります。センサーをマエストロワイヤレス(MRF6のみ)付き調光器または電子スイッチに接続する方法の詳細は下記の通りです。その他の機器にセンサーを接続する場合は、www.lutron.com/occensors をご覧になるが、接続する機器の取付説明書を参照して下さい。

マエストロワイヤレス。調光器または電子スイッチにセンサーを接続する

1 機器の全LEDが点滅するまで、タップボタンを約6秒押し続け、調光器またはスイッチをセットアップモードにします。タップボタンから手を離します。

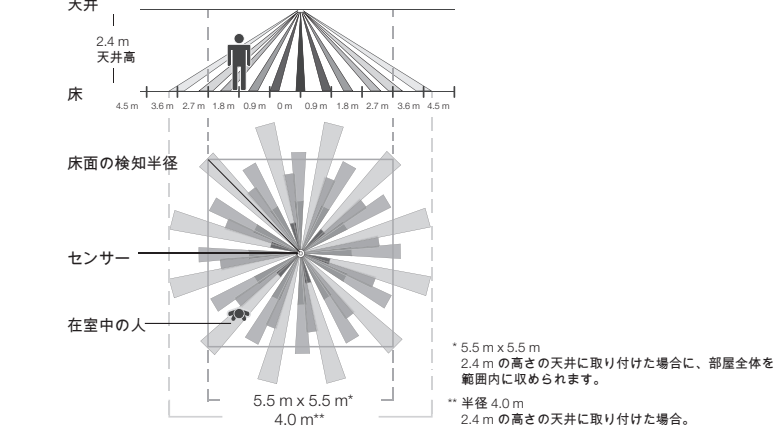
2 センサーの正面にあるQボタンを、レンズが短時間点滅するまで、約6秒押し続け、調光器またはスイッチに接続します。室内の照明も3回点滅し、センサーが正しく接続されたことを示します。調光器またはスイッチは、セットアップモードを自動的に終了します。

3 これで、Qボタンを押すと室内の照明をオンまたはオフにすることができます。センサーにその他の機器を接続する場合は、上記のステップを繰り返します。

4 検知範囲が、廊下や隣の部屋など希望しないエリアにまで及んでしまう場合は、www.lutron.com/occensors をご覧ください。

5 テストの結果、センサーの検知状態が良好だった場合、「G.ワイヤレス通信をテストする」の項目に従い、ワイヤレス通信テストも実施して下さい。

C センサー検知範囲



D センサーの配置と検知範囲

センサーの取り付けにあたっては、次の各項目にご注意下さい：

- センサーは天井取付専用です。3.7m以上の高さがある天井には、設置しないで下さい(「**C. センサーの検知範囲**」の項目をご覧ください)。
- センサーは遮るものがなく、部屋全体を見渡せる場所に設置して下さい。センサーと検知対象(人)の間に障害物があると、正しく作動しないことがあります。センサーが人から見えない位置にある場合、センサーは動作を検知できません。また、センサーはサンルームや浴室のガラス戸など、ガラス板を通過しません(C. センサーの検知範囲をご覧ください)。
- 暖房、空調の吹き出し口や換気口、電子レンジから1.8m以内、その他外線機器の15cm以内、天井より低い位置に取り付けられている電球の1.2m以内には、センサーを設置しないで下さい(「**C. センサーの検知範囲**」をご覧ください)。
- センサーと、接続する調光器またはスイッチ機器との間の距離は、最長で7mです。
- 検知する部屋から室外が広く見える場所には、なるべくセンサーを設置しないようにして下さい。そのような場所に設置せざるを得ない場合は、室外のエリアを検知させないようレンズの一部を覆うことができます(下記の「**レンズを覆う**」をご覧ください)。

センサーは、センサーの検知範囲が部屋の外に及んでいる場合は、センサーが設定どおり作動しない。

センサーの検知範囲のテスト中に、動作に反応してレンズが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

センサー検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

センサー検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

E 取り付け方法

・センサーを常設取り付けする前に、仮取り付けして、センサーの検知範囲やワイヤレス通信機能をテストすることもできます。

1 吊り天井への取り付け
センサーを天井タイルの適切な場所に置いたら、そのタイルを下に降ろすか周囲のタイルを取り外します。タイル裏側の取り付けワイヤを一つにまとめ、固くねじつてとめます。
注:直張り天井面にセンサーを仮取り付けする方法につきましては、www.lutron.com/occensors をご覧ください。

2 直張り天井への取り付け
付属のケーブルプラグ用5mmの下穴を2つ開けます。
・カールプラグを穴に押し込み、天井と段差ができないようにハンマーで叩きます。
・取付具の平らな面が天井側になるようにして、ネジ回しを使い付属のネジ2本を取り付けます。
・センサーを取付具に挿入し、センサーが完全に取まるまで、時計回りに回して取り付けます。

3 天井埋め込み取り付け
・天井面が金属の場合、埋め込みタイプの天井取り付けはしないで下さい。
・取付具を天井タイルの中に取り付けます。センサーを回しながらしっかりと取り付け、天井面と段差ができないようにします。
・天井開口部の直径は76mmです。
・キットは別売りです: L-CRMK-WH。

4 検知範囲が、廊下や隣の部屋など希望しないエリアにまで及んでしまう場合は、www.lutron.com/occensors をご覧ください。

5 テストの結果、センサーの検知状態が良好だった場合、「G.ワイヤレス通信をテストする」の項目に従い、ワイヤレス通信テストも実施して下さい。

6 検知範囲が、廊下や隣の部屋など希望しないエリアにまで及んでしまう場合は、www.lutron.com/occensors をご覧ください。

7 テストの結果、センサーの検知状態が良好だった場合、「G.ワイヤレス通信をテストする」の項目に従い、ワイヤレス通信テストも実施して下さい。

8 検知範囲が、廊下や隣の部屋など希望しないエリアにまで及んでしまう場合は、www.lutron.com/occensors をご覧ください。

F 検知範囲のテスト

1 センサーを天井に取り付け、[Test] ボタンを1回押します。レンズが短時間点灯し、テストモードになったことを示します。

注:バッテリーを入れた後、テストモードが開始するまで、ウォームアップに約90秒かかります。
注:検知範囲が、廊下や隣の部屋など希望しないエリアにまで及んでしまう場合は、www.lutron.com/occensors をご覧ください。その後自動的にテストモードが開始されます。

2 検知できる範囲をチェックするため、室内を歩きながらレンズを確認します。レンズは、動作が検知されると点灯します。動作をしてもレンズが点灯しない場合は、センサーがその位置での動作を検知していません。

3 [Test] ボタンをもう一度押し、テストモードを終了します。ボタンが押されなかった場合でも、テストモード開始から15分経過するが、最後に動作を検知してから5分後にテストモードは自動的に終了します。

4 テスト中に、センサーの動作検知に大きな問題があった場合は、他の場所にセンサーを移動して再度テストして下さい。注:検知範囲が、廊下や隣の部屋など希望しないエリアにまで及んでしまう場合は、www.lutron.com/occensors をご覧ください。

5 テストの結果、センサーの検知状態が良好だった場合、「G.ワイヤレス通信をテストする」の項目に従い、ワイヤレス通信テストも実施して下さい。

G ワイヤレス通信をテストする

このテストはセンサーが、対応する調光器またはスイッチ機器に正しく接続されていることおよび、設置したセンサーの位置から適切なワイヤレス通信が行われているかを確認するために行います。

Q ボタンを数回押して、照明のオン・オフを繰り返します。

センサーの検知範囲が部屋の外に及んでいる場合は、センサーが設定どおり作動しない。

センサーの検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

センサー検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

センサー検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。

天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

センサー検知範囲のテスト中に、動作に反応してセンサーが点灯しない。

センサー検知範囲のテスト中に、動作がなくてもセンサーが点灯したままになっている。

ワイヤレス通信テスト中に、照明が正しく反応しない。







天井から出て照明が消えない。

部屋の前を過ると、照明が点灯してしまう。

H 詳細セットアップ(オプション)


センサーには複数の詳細セットアップモードがあります。ほとんどの場合、初期設定により最適な性能で使用できるため、詳細セットアップを使用する必要はありません。

センサーには個別の設定が可能な詳細セットアップモードが次の3種類あります:タイムアウト時間、自動オン、動作。初期設定については下記をご覧ください。

			
Auto-On <small>自動オン</small>	Activity <small>検知レベル</small>	Timeout <small>タイムアウト時間</small>	
Enabled 設定有効		30 min 30分	<input type="radio"/>
LowLight 低外光時		15 min 15分	<input type="radio"/>
Disabled 設定無効		5 min 5分	<input type="radio"/>

初期設定:
Timeout 15 min.
タイムアウト時間: 15分

Auto-on Enabled
自動オン: オン

Activity Low Activity
検知レベル:  小さい動作

詳細セットアップモード
Timeout(タイムアウト時間)
特定の時間(タイムアウト時間)内に、動作が検知されない場合、センサーが照明をオフにします。次の4通りのタイムアウト時間の設定が可能です: 1*、5、15、30分。

Auto-On(自動オン)
センサーの自動オン機能を設定することにより、入室時の照明の反応をコントロールすることができます。次の3通りの設定が可能です: オン、低外光時、オフ。

Enabled(オン): 入室時は毎回照明がオンになります。

Low Light(低外光時): 室内に十分な外光が入らない場合に、入室時に照明が自動的にオンになります。

Disabled(オフ): この設定にすると、センサーが退出モードになります。照明は自動でオンにはなりませんが、退出すると自動でオフになります。照明をオンにする場合は、接続している調光器またはスイッチ機器で手動でオンにする必要があります。

Activity(検知レベル)

センサーの感度は室内で予測される動作に応じて、調整することができます。次の3種類の動作設定が可能です: 小さい動作、中程度の動作、大きな動作。

Low Activity(小さい動作)**: 最も感度のよい設定で、非常に小さな動きも検知します。ほとんどの場合、高感度に設定すると最適に作動するため、この設定がお勧めです。在室中、比較的長時間居り続けることが多い空間に最適な設定です。

Medium Activity(中程度の動作)**: 「小さな動作」に比べて多少感度の低い設定で、通常の動作を行うような空間に適しています。

High Activity(大きな動作)**: 最も感度の低い設定で、歩くなどの大きな動作が予想される空間のみ適しています。

* タイムアウト時間を1分に設定するには、3つすべてのLEDがすばやく点滅するまで、[タイムアウト] ボタンを約10秒押し続けます。1分のタイムアウト時間設定を保存するには、3つすべてのLEDが点灯に変わり、1分のタイムアウト時間設定が保存されたことを示すまで、[タイムアウト] ボタンを約10秒押し続けます。

** 初期設定は「小さな動作」設定になっており、ほとんどの場合この設定にする最適に作ります。まれに、暖房の吹き出し口、空調の吹き出し口、電球など外部からのノイズ源の近くにセンサーを設置すると、入室しなくても照明がオンになり、退出した後も照明が長時間点灯し続けることがあります。このような場合は、感度を「中程度の動作」または「大きな動作」まで下げ、この状態が起きないようにして下さい。